

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	12 その他事務管理(財産管理)
事務事業名		08 三石財産区管理事業	問合先 担当課(室) 財政課 職・氏名 財産管理係長 芳田猛 電話 0869-64-1811
		根拠法令・規程等	三石財産区管理会条例 三石財産区基金条例

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	三石財産区の保有財産及び区域内の住民
目的(何のために)	三石財産区の保有財産の適正な管理・運用
行政活動(どのような方法で)	三石財産区の保有財産の草刈など維持管理の実施及び貸付による資産運用
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	三石財産区の良好な運営

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
土地貸付収入	千円	3,600	3,736	3,547	
維持管理費	千円	1,240	1,161	1,022	
草刈経費	千円	1,167	738	909	
草刈延人数	人	155	119	133	
管理会開催日時	日	2	4	3	
備前市三石財産区基金積立	千円	2,316	7,776	2,398	
一般会計繰出金	千円	0	400	0	
事業費	千円	1,710	1,668	1,451	
必要人員	人件費	0.10人	785	0.10人	982
事業費	千円	2,495	2,650	1,830	
国県支出金	千円				
受益者負担	千円	3,600	3,736	3,551	
線入金	千円				
その他(一般財源)	千円	-1,105	-1,086	-1,721	
受益者負担比率	%	144.3%	141.0%	194.0%	
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
結果指標①	説明	草刈延人数			
結果指標量	人	155	119	133	
対前年比	%	-	76.8%	111.8%	
活動コスト	円	1,167,000	738,000	909,000	
単位当たりコスト	円	7,529	6,202	6,835	
結果指標②	説明	管理会開催日数			
結果指標量	日	2	4	3	
対前年比	%	-	200.0%	75.0%	
活動コスト	円	1,240,000	1,161,000	1,022,000	
単位当たりコスト	円	620,000	290,250	340,667	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
収支差引額	目標値(A)	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値(B)	1,892	2,069	2,100	到達目標年度
	達成率(B/A)	94.6%	103.5%	105.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
財産区の財産管理について、歳入の範囲内での運営に努める。(歳入-歳出≥2,000(単位千円))					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	判定理由・課題認識 三石財産区の保有財産の維持管理・処分については、区域内住民の福祉を増進することを目的とした事業であり、良好な運営が図られている。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	判定理由・課題認識 維持管理については、必要最小限の支出に努めている。しかし、駐車場については、空き区画が多数あることから、広報等による周知徹底を推進し、歳入増加を図る必要がある。
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	判定理由・課題認識 維持管理業務の一部について、地域のボランティア団体や各種団体に作業を依頼するなど、歳入・歳出の健全な事業会計が維持できるよう努めている。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	140	結果指標量②	4	成果指標量	2,000
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	歳入・歳出に留意しながら、適正な管理・運営が図れている。					

総合評価		評価区分<A~E>
適正な管理・運営が図れているものの、土地貸付収入が減少しており、特に、空き駐車場の利用促進に努めるなど、駐車場貸付契約者の増加を図る必要がある。		B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	適正な管理・運営が図れており、区域内住民の福祉の増進のため継続する。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。